

卒業時アンケート（学部対象）

対象 : 学部卒業論文提出者

実施期間 : 2024 年 1 月 5 日（金）～1 月 12 日（金）

実施方法 : 教務係へ卒業論文を提出しに来た者にアンケート用紙を配布し、すぐ側に設置した回収箱へ投函してもらう。回収箱は評価・広報室前にも設置した。卒業論文の郵送提出を希望した者には、卒業論文と一緒にアンケートも郵送で提出してもらう。

※アンケートとともに卒業論文を提出するというかたちをとったため、卒業論文提出日にほぼ回収することができた。

論文提出者 : 168 名

回答者数 : 160 名

回答率 : 95.2% ※2022 年度 92.0%

結果まとめ **質問ごとに(全体) (実数)**

【専修】 所属する専修は次のどれですか？

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T		
哲学・思想文化学	倫理学	中国哲学	インド哲学	日本史学	東洋史学	西洋史学	考古学	日本学	人文地理学	日本語学	日本文学・国語学	比較文学	中国文学	英米文学・英語学	ドイツ文学	フランス文学	美学・文芸学	音楽学・演劇学	美術史学	専修不明	合計
5	10	0	1	13	4	16	5	14	8	16	24	1	3	6	0	2	8	15	8	1	160
16				38				38			28			8			31				
哲学ブロック				歴史学ブロック				日本学ブロック			東洋文学ブロック			西洋文学ブロック			芸術ブロック				

質問 1 あなたが所属する専修において開講されている講義や演習の数や種類は十分でしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
84		66		6		2		2	

質問 2 あなたが所属する専修において開講されている講義・演習・実習等のバランスは適切だと思いますか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
75		68		13		2		2	

質問3 あなたが所属する専修において開講されている授業の内容は、全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
96		53		9		1		1	

質問4 大阪大学文学部の教室や教育のための設備は、満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
46		59		39		12		4	

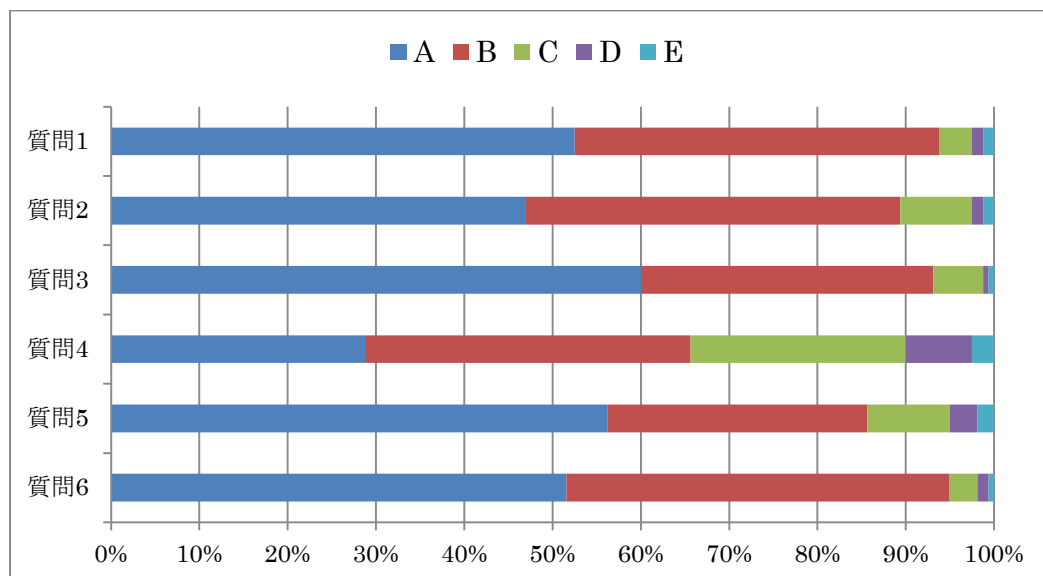
質問5 卒業論文の作成や日常の勉学について、教員から十分な指導を受けることができましたか？

A	強くそう思う	B	ややそう思う	C	あまり思わない	D	全く思わない	E	どちらとも言えない
90		47		15		5		3	

質問6 大阪大学文学部での勉学は全体として満足できるものでしたか？

A	非常に満足	B	やや満足	C	やや不満	D	非常に不満	E	どちらとも言えない
82		69		5		2		1	

各質問の回答選択肢の割合



質問7 大阪大学文学部での教育全般について、より良くするための意見や要望があれば、自由に書いてください。

【設備・教室について】
自習室を 24 時間開けてほしい。
学習会に使用できる教室が増えるとうれしいです。
教室の割り当てにもう少し自由がきくようになってほしい。
文学部棟により金をかけるべき。
芸術棟の多目的トイレにサンタリーボックスを置いてください。
【授業・単位について】
一年次から講義だけでも専門科目を取れるようにしてほしい。
他専修の初学者向けの授業がどれかが分かりやすいと良い。
より外国語（英語）で受けられる授業があれば嬉しいです。
レポートの分量をもう少し減らしてほしい。内容はちゃんとするので。
よくも悪くも放任主義だと感じるが多かったので、大学側から学生の学びのための働きかけが増えるとよいかと思います。
学業において、大変充実した学生生活を送ることができました。
ともに学べる仲間と、情熱をもって接してくれる先生がいました。
【図書館について】
図書館を 24 時間開けてほしい。
人文系の図書をより充実させることが必要ではと思われる。阪大にだけ無いものが多い。

自由記述欄についてのご回答

教室増設、蔵書など学習環境についてご意見をいただきました。これまでも定期的に学習環境の整備を行ってはきました。予算上の制約があり直ちに実現できるわけではありませんが、今後ともより充実した学習環境の整備に努めていきます。 1 年次から専門科目を履修できるようにしてほしいとのご意見をいただきました。1 年次は基盤教養科目を履修する年次ですが、基盤教養科目の中には一部専門教育科目の単位となるものもあります。 また英語の授業を増やしてほしいとのご意見をいただきました。開講科目一覧の備考欄に「英」と記されている科目は「英語で行われる授業」です。「外国語による発信力を育成するための科目」など英語での授業が開講されています。これらの授業を活用できるように周知に努めていきます。
--